

コクヨグループ
CSR 報告書
2013
データ集

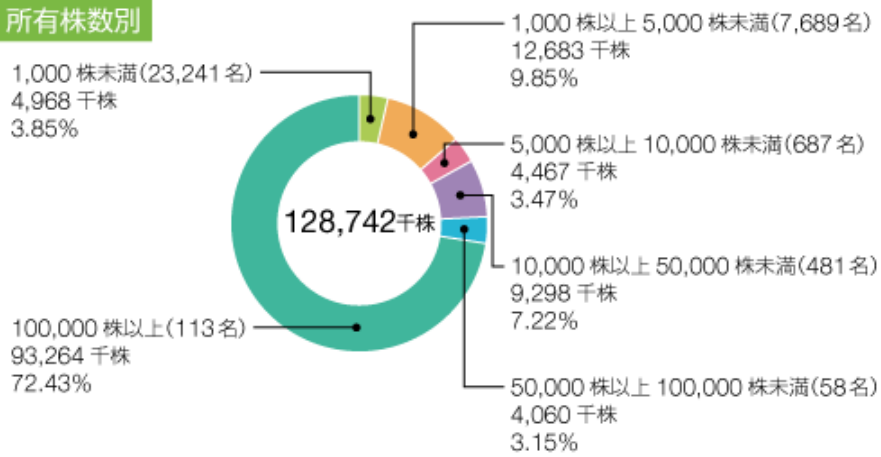


■ データ集

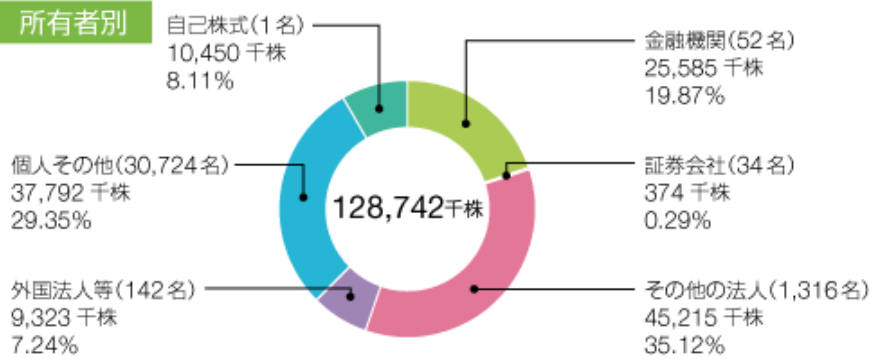
ガバナンス

株式分布状況

所有株数別



所有者別



※ 千株未満を切り捨てています。

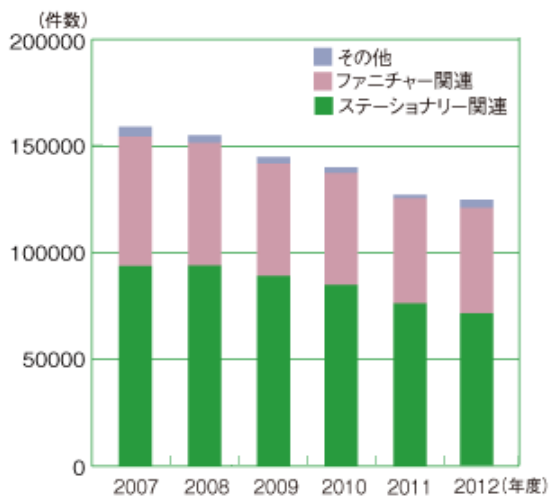
社会

■ 報告対象期間

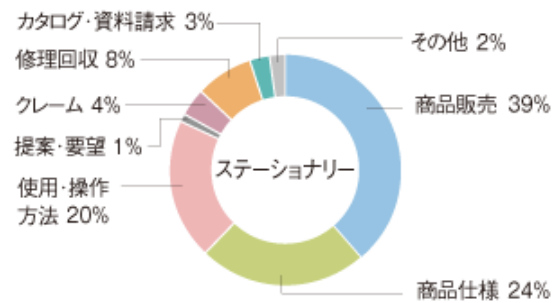
該当年の1.1～12.31(実績は12.31現在の数字)

■ お客様の声の反映

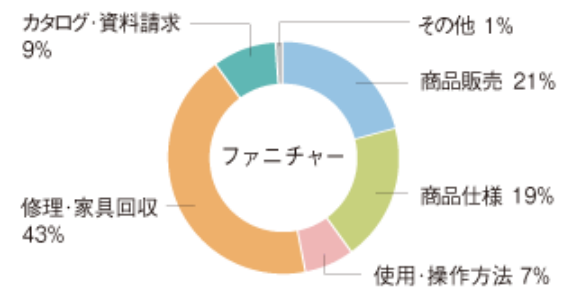
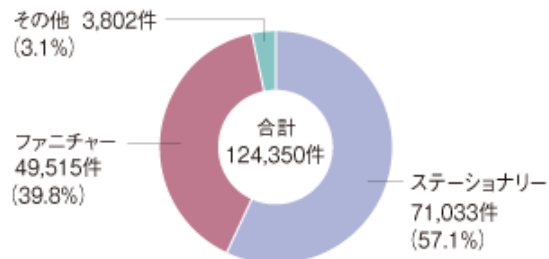
お問い合わせ件数の推移



お問い合わせの内容



お問い合わせのジャンル



従業員関連データ

単体・連結

		対象	2011年	2012年
取締役数	社内	単体	3人	3人
	社外	単体	3人	3人
監査役数	社内	単体	2人	2人
	社外	単体	2人	2人
従業員数 ※正社員および 一部契約社員含む	男性	連結	4,552人	4,756人
	女性	連結	1,625人	1,733人
	計	連結	6,177人	6,489人
	男性	単体	94人	219人
	女性	単体	54人	128人
	計	単体	148人	347人
	国内事業所における外国人	単体	6人	11人
非正社員数 ※()は非正社員比率		連結	2,060人 (25%)	2,335人 (26.5%)
障害者雇用率		グループ適用実施会社	2.41%	2.27%

主要会社

対象:コクヨ(株)、コクヨS&T(株)、コクヨファニチャー(株)、コクヨマーケティング(株)、(株)カウネット、コクヨエンジニアリング&テクノロジー(株)、(株)コクヨロジテム、コクヨサプライロジスティクス(株)

		2011年	2012年
世代別従業員数	30歳未満	359人	331人
	30～39歳	1,090人	960人
	40～49歳	1,425人	1,514人
	50～59歳	643人	671人
	60歳以上	66人	76人
	計	3,583人	3,552人

		2011年	2012年
平均年齢	男性	43.19才	43.74才
	女性	36.33才	37.13才
	平均	41.84才	42.43才
平均勤続年数	男性	18.07年	18.52年
	女性	12.39年	13.18年
	平均	16.95年	17.46年
新卒採用実績	男性	17人	26人
	女性	13人	20人
	計	30人	46人
中途採用実績	男性	9人	16人
	女性	2人	0人
	計	11人	16人
離職率 ※定年退職者除く	男性	1.13%	1.29%
	女性	3.17%	3.63%
	計	1.54%	1.75%
役職登用状況	(男性) 役員以上	22人	25人
	(男性) 部長	167人	167人
	(男性) 課長	730人	729人
	(男性) 係長	1,155人	1,172人
	(女性) 役員以上	0人	0人
	(女性) 部長	2人	1人
	(女性) 課長	22人	25人
	(女性) 係長	131人	147人
	(女性) 管理職比率 (課長以上)	2.61%	2.82%
	(外国人) 役員以上	0人	0人
	(外国人) 部長	0人	0人
	(外国人) 課長	1人	2人
(外国人) 係長	1人	1人	

		2011年	2012年
育児休業取得者数	男性	4人	1人
	女性	57人	71人
	計	61人	72人
介護休業取得者数	男性	0人	0人
	女性	1人	0人
	計	1人	0人
有給休暇の取得率 ※当年取得日数(前年繰越分含む) / 当年付与日数(前年繰越分含めず)		46.66%	41.12%
従業員1人あたりの年間教育訓練費		57,199円	61,862円

労働安全衛生

対象:コクヨファニチャー(株)三重工場・芝山工場、(株)コクヨ工業滋賀、(株)コクヨMVP、石見紙工業(株)

	2011年	2012年
労働災害発生件数	4件	7件
労働災害度数率	2.1%	3.33%
労働災害強度率	0.139%	0.096%
労働災害休業日数	265日	202日

環境パフォーマンスデータ

■ 報告対象期間

2012年度(2012.1.1～2012.12.31)

■ 参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」

環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」

GRI「サステナビリティレポートガイドライン」

■ 報告対象組織

2012年度から対象範囲をすべての連結子会社にまで広げました。

ただし、2012年度の目標についてはAの範囲により目標を設定しているため、その実績を開示しています。

		連結会社	関連会社
B	A	コクヨ株式会社	
		コクヨS&T、コクヨファニチャー、カウネット、コクヨマーケティング、コクヨエンジニアリング&テクノロジー、コクヨサプライロジスティクス、コクヨロジテム、コクヨ工業滋賀、コクヨMVP、コクヨベトナム、コクヨ(マレーシア)、コクヨファイナンス、コクヨインターナショナル	コクヨKハート、コクヨ-IK(タイランド)、KTL
		アクタス、フォーレスト、LmD、国営貿易(上海)有限公司、国営(上海)企業管理有限公司、国営商業(上海)有限公司、国営家具商貿(上海)有限公司、国営裝飾技術(上海)有限公司、コクヨインターナショナルアジア、コクヨインターナショナル(マレーシア)、コクヨベトナムトレーディング、コクヨカムリン、LmDインターナショナル	コクヨ北海道販売、コクヨ東北販売、コクヨ北関東販売、コクヨ東海販売、コクヨ北陸新潟販売、コクヨ山陽四国販売、ハートランド

A: 2011年度までの報告対象範囲(コクヨ(株)と連結子会社13社、関連会社3社)

B: 2012年度からの報告対象範囲(コクヨ(株)と連結子会社26社、関連会社10社)

環境方針	2012年度目標と結果		評価
	目標	実績	
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量の削減 対前年比 総量▲3.6%(生産影響除く)	▲5.6%(生産影響除く) <参考>実質総量 25,760t-CO ₂ <電力排出係数固定0.378> +3.4%	○
	消費エネルギー前年比 原単位 ▲2.6%	売上高原単位 ▲3.3%	○
省資源・リサイクル	廃棄物総量に対するリサイクル率の把握 <ul style="list-style-type: none"> 改善提案の実施 施工現場廃棄物の把握 「廃棄物ガイドライン」の改定	リサイクル率 97.6% <ul style="list-style-type: none"> ファニチャー関連の施工現場廃棄物の把握 廃棄物処理ガイドラインの改定実施	○
エコプロダクツの調達・開発・提供	エコ×ゼロの維持	維持できている	○
情報開示・コミュニケーション	CSR活動社員への浸透策の実施 <ul style="list-style-type: none"> e-Learning: 理解度100% 全社員参加のエコ活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> エコ伝3: 参加率70%以上 CO₂削減量対前年同時期10%削減 	CSR e-Learning実施 <ul style="list-style-type: none"> 参加率: 68%、理解度: 77% エコ伝3の実施 <ul style="list-style-type: none"> 参加率: 48% CO₂削減量: 対前年同時期2%削減) 	○
環境経営	連結決算対象企業の環境負荷の把握	連結決算対象企業の環境負荷の把握 <ul style="list-style-type: none"> 日経環境経営度調査 81位(前年178位) ぶなの森環境アンケート A評価(前年A評価) 東洋経済CSR格付け ESG評価「AAA」 FTSE4Good 総合評価「4」 CDP ディスクロージャースコア: 85 パフォーマンススコア: C 	○

※[報告対象組織のAの範囲](#)により目標を設定しているため、その実績を開示しています。



エコ効率指標

コクヨグループでは、財務業績と地球環境とともに効果を総合的に評価できる指標として、独自の「エコ効率指標」を定めています。この指標は「一定の環境負荷に対する、製品やサービスの社会への提供度合い」を示すもので、次の4項目を対象にしています。

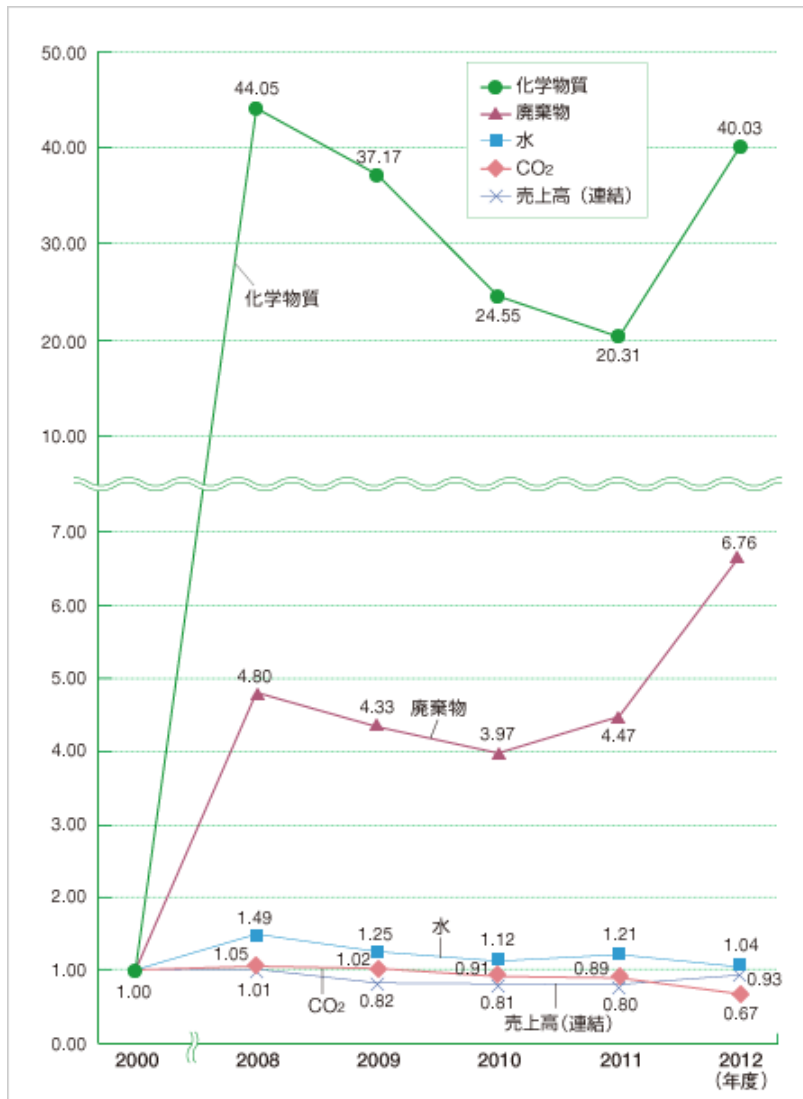
1. CO₂の排出量
2. 廃棄物の最終処分量
3. PRTR法対象化学物質の使用量
4. 水の使用量

各指標は、2000年度を基準にすることで、年度ごとの進捗状況を把握できます。

エコ効率指標 =

$$\frac{\text{当年度(売上高/各環境負荷量データ)}}{\text{基準年度(売上高/各環境負荷量データ)}}$$

エコ効率指標



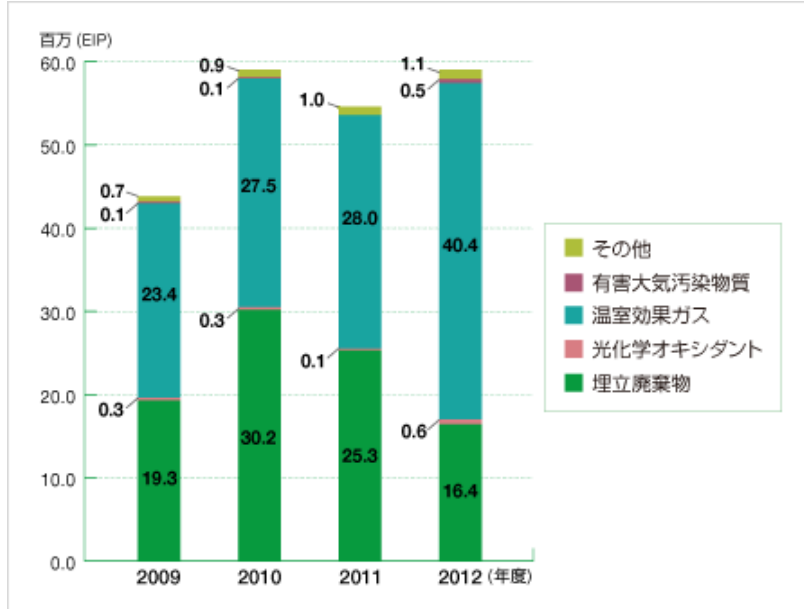
※2011年までは [報告対象組織のAの範囲](#) で、2012年は [Bの範囲](#) で開示しています。

※化学物質はPRTR法の届出対象事業所が使用したPRTR法対象物質の取扱量により算出しています。

JEPIX(環境政策優先度指数日本版)とは、温室効果ガスや有害大気汚染物質など種類の異なる環境負荷の量を、環境影響ポイント(EIP)と呼ばれる単一指標として数値化する手法です。環境影響ポイントは、環境負荷物質ごとに「環境負荷量」に「日本の環境政策目標と実際の排出量比率から算出した統合化係数(エコファクター)」を掛けて、それらを合計することで算出します。

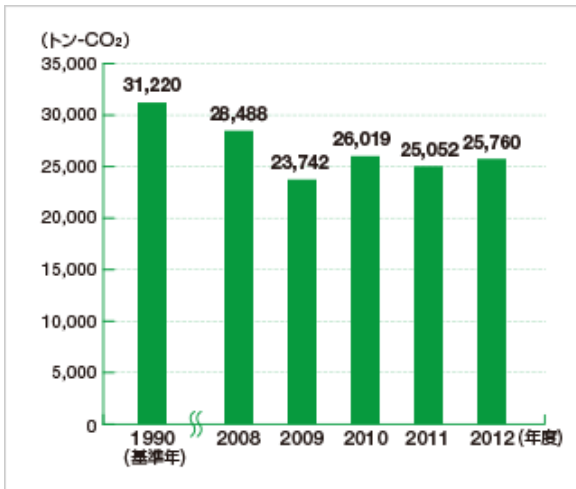
$$\text{環境影響ポイント(EIP)} = \sum (\text{環境負荷量} \times \text{エコファクター})$$

JEPIX



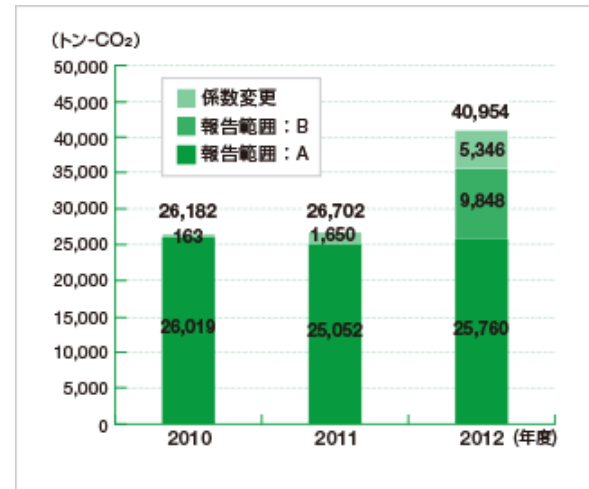
※2011年までは報告対象組織のAの範囲で、2012年はBの範囲で開示しています。

CO2排出量の推移



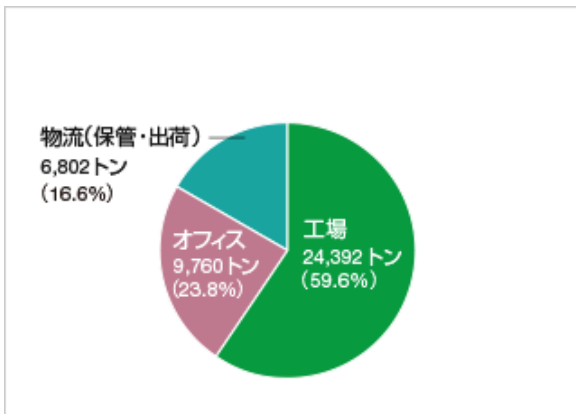
※報告対象範囲のAの範囲で算出しています。

CO2排出量の推移

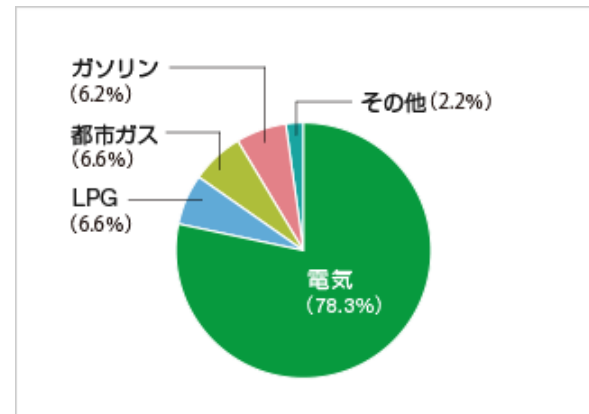


※2011年までは報告対象組織のAの範囲で、2012年はBの範囲で開示しています。

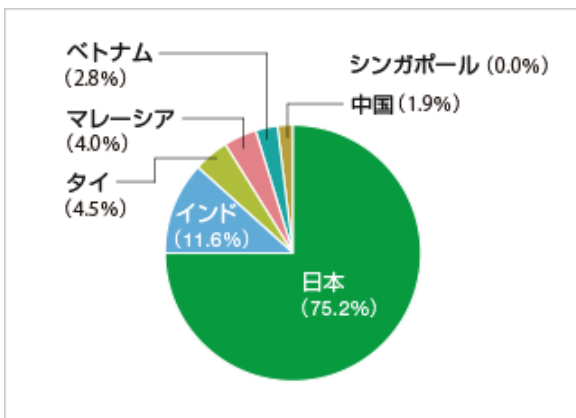
CO2排出量の排出元別内訳



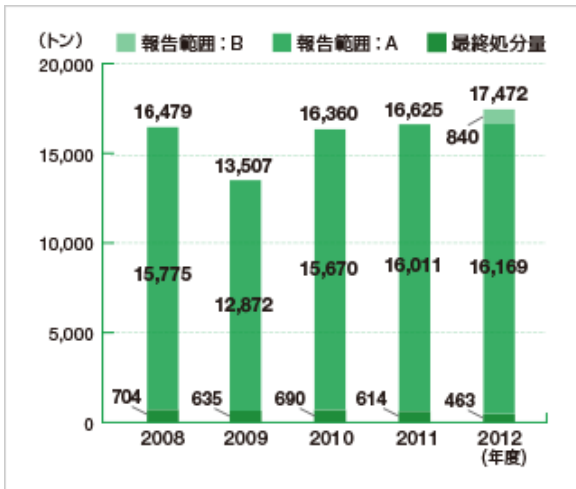
CO2排出量の排出源別内訳



CO2排出量の国別排出量

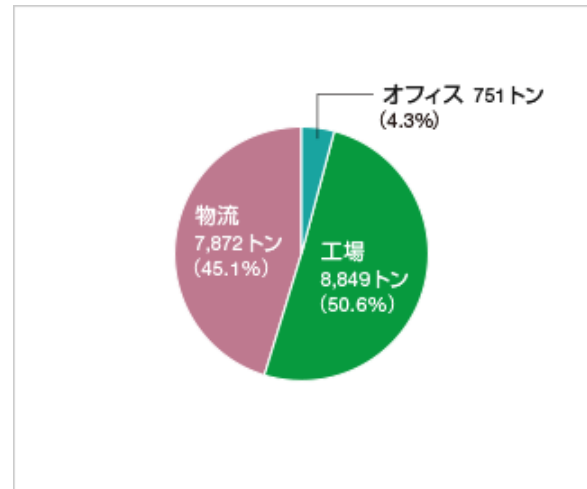


排出物のリサイクル量と最終処分量

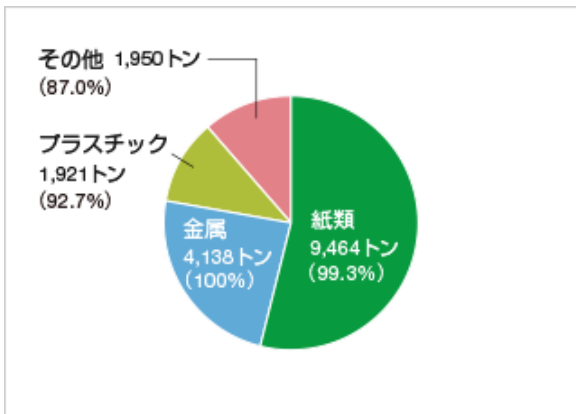


※2011年までは報告対象組織のAの範囲で、2012年はBの範囲で開示しています。

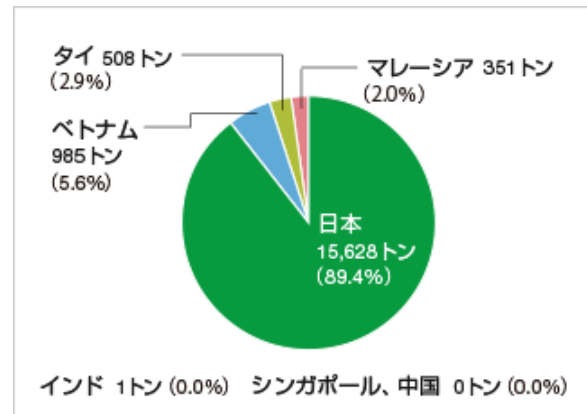
排出元別の内訳



排出物の内訳(カッコ内はリサイクル率)



国別排出量





PRTR法対象化学物質

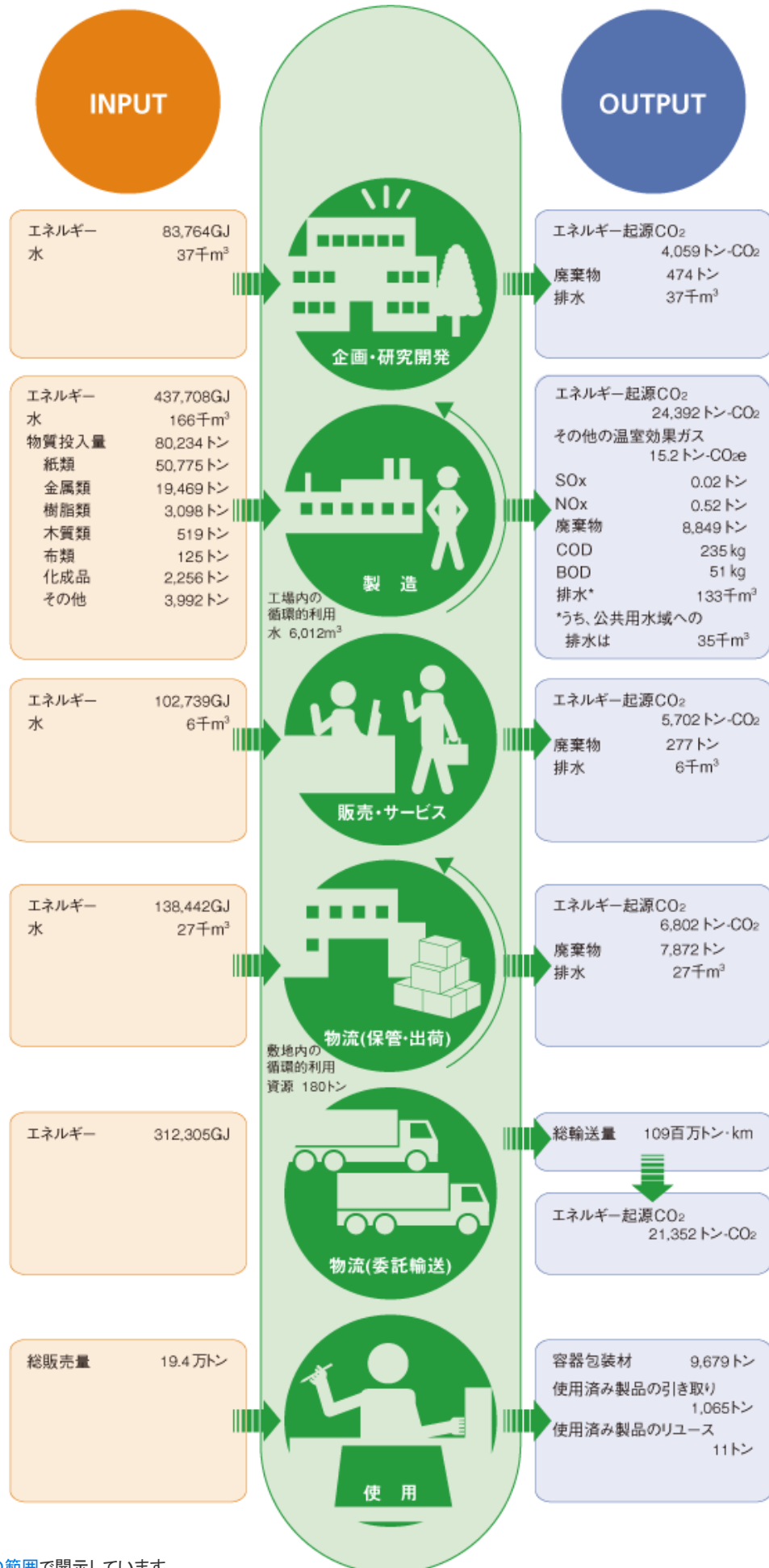
政令番号	化学物質名	取扱量 kg	排出・移動量					除去処理量 kg	消費量 kg
			大気排出量 kg	公共用水域排出量 kg	下水道移動量 kg	廃棄物量 kg	小計 kg		
1	亜鉛の水溶性化合物	159.3	0.0	14.2	0.0	0.0	14.2	15.2	129.9
20	2-アミノエタノール	70.0	66.5	3.5	0.0	0.0	70.0	0.0	0.0
53	エチルベンゼン	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
57	エチレングリコールモノエチルエーテル	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
80	キシレン	201.1	185.9	0.0	0.0	0.1	186.1	0.0	15.0
125	クロロベンゼン	7.0	0.1	0.0	0.0	0.5	0.6	0.0	6.4
134	酢酸ビニル	444.4	28.7	2.8	4.2	17.3	53.0	0.0	391.4
207	2,6-ジターシャリーブチル-4-クレゾール	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
300	トルエン	168.4	94.0	0.0	0.0	1.4	95.4	48.4	24.6
302	ナフタレン	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
309	ニッケル化合物	12.0	0.0	0.0	0.0	8.4	8.4	0.0	3.6
354	フタル酸ジ-ノルマル-ブチル	364.3	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1	0.0	361.2
392	ノルマル-ヘキサン	777.3	759.0	0.0	0.0	0.5	759.5	0.0	17.8
403	ベンゾフェノン	36.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.1
407	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	810.2	588.2	0.0	0.0	222.0	810.2	0.0	0.0
410	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	14.8	12.9	0.0	0.0	0.1	13.0	0.0	1.7
447	メチレンビス=ジイソシアネート	71.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.6
合計		3,142.3	1,735.4	20.5	4.2	253.4	2,013.5	63.6	1,065.2

※PRTR法の届出対象事業所が使用したPRTR法対象物質の取扱量、排出・移動量、除去処理量、リサイクル量、消費量。これらの算定は、経済産業省・環境省「PRTR 排出量等算出マニュアル第4.1版(平成23年3月)」を参照。

※除去処理量は、「PRTR対象物質」を場内で焼却、中和、分解、反応処理等により他物質に変化した量をいう。

※消費量は、「PRTR対象物質」が反応により他物質に変化したり、製品に含有もしくは同伴されて場外に持ち出される量をいう。

環境負荷マテリアルフロー



※報告対象範囲のBの範囲で開示しています。

Input項目

指標	単位	算定方法
エネルギー使用量	GJ	電力、ガス(都市ガス、LPG、天然ガス)、油(ガソリン、軽油、灯油、A重油) 電力の単位発熱量は、エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則(平成20年4月1日施行)の昼間電力の値を採用 ガス、油の単位発熱量は、環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver.3.3(平成24年5月)」の値を採用
水	千m ³	水道水、工業用水
物質投入量	トン	製品を製造するために使用した原材料の量(ココヨカムリンを除く)
総販売量	万トン	ファニチャー製品、ステーションナリー製品のデータ(ココヨカムリンを除く)
容器包装材	トン	製品の包装に使用した包装材の量

Output項目

指標	単位	算定方法
エネルギー起源CO ₂	トン CO ₂	電力、ガス、油の使用によって発生する二酸化炭素排出量 日本の電力のCO ₂ 排出係数は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく係数(電気事業者ごとの2011年度実績による実排出係数)を採用 海外の電力のCO ₂ 排出係数は、持続可能な発展のための世界経済人会議(WBCSD)並びに世界資源研究所(WRI)が公開しているGHGプロトコルウェブサイト内の各国ごとの係数を採用 ガス、油のCO ₂ 排出係数は、環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver.3.3(平成24年5月)」の値を採用 物流(委託輸送)の二酸化炭素排出量の計算には、トンキロ法と燃費法を併用
その他の温室効果ガス	トン CO ₂ e	生産に係わる非エネルギー起源の温室効果ガス(CO ₂ 、CH ₄ 、N ₂ O)の排出量を二酸化炭素に換算した量の合計。排出係数は、環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver.3.3(平成24年5月)」の値を採用
SO _x 、NO _x	トン	生産を行っている工場のばい煙発生施設からの排出量
廃棄物	トン	廃棄物等排出量(排出物)は、事業所から排出した廃棄物量、有価物量の合計 リサイクル量は、廃棄物等排出量(排出物)のうちマテリアルリサイクルもしくはサーマルリサイクルされたものと、有価物量の合計 最終処分量は、廃棄物排出量(排出物)のうち単純焼却もしくは直接埋立された量の合計
排水量	千m ³	公共用水域、下水道への排水量
COD、BOD	kg	国内工場のうち、法律によって水質の測定が義務付けられている工場からの公共用水域への排出量

その他項目

指標	単位	算定方法
総輸送量	トン・km	委託輸送のうち、家具製品輸送、文具製品輸送、カウネットが行う通信販売による輸送及びアクタスの商品輸送の国内輸送データ及びマレーシア国内の輸送量の合計
工場内の循環的利用水	m ³	事業所内部での循環的利用量
敷地内の循環的利用資源	トン	コクヨロジテムとコクヨサプライロジスティクスにおける梱包材などの事業所内部での再利用量
使用済み製品の引き取り	トン	コクヨロジテムが顧客から回収した使用済み製品の引き取り量
使用済み製品のリユース	トン	コクヨロジテムが顧客から回収した使用済み製品のうち、リユースした量



ISO14001認証対象サイト

No.	事業会社名	サイト名
1	コクヨ	本社
2		霞が関オフィス
3		名古屋オフィス
4		品川オフィス
5	コクヨKハート	本社
6	コクヨS&T	本社
7		品川オフィス
8	コクヨMVP	鳥取工場
9		青谷工場
10	コクヨ工業滋賀	本社
11	コクヨファニチャー	本社(WS含む)
12		品川オフィス
13		霞が関オフィス
14		大崎オフィス
15		名古屋オフィス
16		三重工場
17		芝山工場
18	コクヨロジテム	本社
19		仙台配送センター
20		群馬配送センター
21		京浜配送センター
22		新千葉配送センター
23		滋賀配送センター
24		三重配送センター
25		伊那配送センター
26		名古屋配送センター
27		藤原配送センター
28		岡山配送センター
29		佐賀事業所
30		みなと配送センター
31	コクヨサプライロジスティクス	本社
32		茨城配送センター
33		首都圏IDC
34		中部IDC
35		滋賀NDC
36		大阪南港配送センター
37		九州IDC
38		近畿IDC

No.	事業会社名	サイト名
39	カウネット	本社
40		名古屋物流センター
41		福岡物流センター
42	コクヨエンジニアリング&テクノロジー	本社
43		札幌営業所
44		東北支店
45		中部支店
46		関西支店
47		中四国支店
48		九州支店
49	コクヨマーケティング	本社
50		立川オフィス
51		千葉オフィス
52		埼玉オフィス
53		横浜オフィス
54		長野オフィス
55		名古屋オフィス
56		静岡オフィス
57		大阪オフィス
58		京都オフィス
59		神戸オフィス
60		和歌山オフィス
61		広島オフィス
62		山口オフィス
63		松江オフィス
64		福岡オフィス
65		長崎オフィス
66		鹿児島オフィス
67	沖縄オフィス	
68	宮崎オフィス	
69	KTL	本社
70	コクヨ(マレーシア)	本社
71	コクヨ-IKタイランド	本社
72	コクヨカムリン	Tarapur
73		Samba



環境会計

(単位:万円)

項目	環境投資		費用		効果		計	
	2011年	2012年	2011年	2012年	2011年	2012年	2011年	2012年
公害防止	422	308	5,566	6,029	0	0	5,988	6,337
温暖化防止	1,587	1,181	405	564	▲2,439	▲2,727	▲447	▲982
省資源・リサイクル	140	324	25,173	29,519	▲12,713	▲17,482	12,600	12,361
エコプロダクツの調達・提供	0	0	5,498	10,917	▲142	0	5,356	10,917
環境技術の調査研究	0	0	6,295	3,146	0	0	6,295	3,146
環境コミュニケーション	0	0	4,037	2,621	0	0	4,037	2,621
マネジメント体制構築	34	0	4,745	4,461	0	0	4,779	4,461
環境損傷対応	0	0	144	358	0	0	144	358
計	2,183	1,813	51,863	57,616	▲15,294	▲20,209	38,752	39,220

※2011年は報告対象範囲のAの範囲、2012年は報告対象範囲のBの範囲で開示しています。

経済的効果内訳

項目	対策内容	2011年	2012年
温暖化防止	省エネ設備の導入効果	▲493	▲1,759
	運用改善による効果	▲1,946	▲968
省資源・リサイクル	分別・リサイクルにより得られた収入	▲9,497	▲14,491
	廃棄物の削減	▲3,216	▲2,991
エコプロダクツの調達・提供	リサイクル品利用によるコスト削減	▲142	0
計		▲15,294	▲20,209

拠点別レポート

国内拠点レポート

コクヨでは国内外の主要なサイトについて、事業活動が環境に与える負荷を把握し、対策の検討や目標の設定などに活用しています。国内では5カ所の工場について開示しています。2012年度、国内5工場のCO₂の排出量の合計は、生産増や内製化の影響を受けて増加しました。

※各表の中で、数値が「0」の項目は「四捨五入すると0になる」ことを、また「-」で示した項目は対象がないことを意味しています。

※排水に関しては法規制上測定を要するサイトのみ掲載するとしていますが、それに該当しない工業滋賀については2007年度にpHの異常値が出ていることから、とくに掲載しています。

✧ コクヨファニチャー
(三重工場)

✧ コクヨファニチャー
(芝山工場)

✧ コクヨ工業滋賀

✧ コクヨMVP (鳥取工場)

✧ コクヨMVP (青谷工場)

海外拠点レポート

2012年度のCO₂排出量はIK(タイランド)が生産増により増加したものの、マレーシア、ベトナムの両工場での抑制活動により3工場の合計では微増となっています。

尚、海外ではこれまでの主要な生産拠点3カ所に加えて2012年度からコクヨカムリン5工場の環境データも収集し開示しています。

✧ コクヨ -IK(タイランド)

✧ コクヨ(マレーシア)

✧ コクヨベトナム

✧ コクヨカムリン
(インド:タランプール工場)

✧ コクヨカムリン
(インド:タロージャ工場)

✧ コクヨカムリン
(インド:パサイ工場)

✧ コクヨカムリン
(インド:サンバ工場)

✧ コクヨカムリン
(インド:ジャムー工場)

拠点別レポート

コクヨファニチャー(三重工場)

所在地	三重県名張市西田原2012番地
主要製品	スチールデスク、ローパーテーションなど
操業開始	1993年5月
敷地面積	145,977m ²



インプット		2011年度	2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	76,449GJ	92,298GJ
	燃料	27,089GJ	34,468GJ
	電気	49,360GJ	57,830GJ
水資源	水道水	34千m ³	43千m ³
アウトプット		2011年度	2012年度
大気への排出	CO ₂	3,942t	5,041t
	SO _x	0.02t	0.02t
	NO _x	0.44t	0.44t
廃棄物	総排出量	817t	933t
	再生利用・熱回収	815t	932t
	最終処分	2t	1t
水域への排出	排水量	21千m ³	24千m ³
	公共水域への排出	21千m ³	24千m ³
	下水道への排出	-	-
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	PH7.8	PH7.2~7.7
	COD	7.3mg/L	10.4mg/L
	BOD	1.5mg/L	2.3mg/L
	SS	1.3mg/L	1.0mg/L

拠点別レポート

コクヨファニチャー(芝山工場)

所在地	千葉県山武郡芝山町大台3155番4号
主要製品	間仕切り、ローパーテーション、 収納家具など
操業開始	1994年6月
敷地面積	73,734m ²



インプット		2011年度	2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	89,576GJ	106,398GJ
	燃料	42,924GJ	50,457GJ
	電気	46,652GJ	55,941GJ
水資源	水道水	14千m ³	18千m ³
アウトプット		2011年度	2012年度
大気への排出	CO ₂	3,893t	5,117t
	SO _x	-	-
	NO _x	-	-
廃棄物	総排出量	1,925t	2,356t
	再生利用・熱回収	1,921t	2,356t
	最終処分	4t	0t
水域への排出	排水量	9千m ³	12千m ³
	公共水域への排出	4千m ³	6千m ³
	下水道への排出	5千m ³	6千m ³
水域への 排水規制項目	水素イオン濃度	pH6.9	pH7.3
	COD	5.0mg/L	3.6mg/L
	BOD	9.0mg/L	0.7mg/L
	SS	4.0mg/L	1.0mg/L

拠点別レポート

コクヨ工業滋賀

所在地	滋賀県愛知郡愛荘町上蚊野312番地
主要製品	ノート、PPC用紙、複写簿、 ルーズリーフなど
操業開始	1980年10月
敷地面積	114,294m ²



インプット		2011年度	2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	69,137GJ	65,033GJ
	燃料	1,240GJ	1,064GJ
	電気	67,897GJ	63,969GJ
水資源	水道水	5千m ³	6千m ³
アウトプット		2011年度	2012年度
大気への排出	CO ₂	2,195t	2,953t
	SO _x	-	-
	NO _x	-	-
廃棄物	総排出量	2,343t	2,492t
	再生利用・熱回収	2,343t	2,492t
	最終処分	0t	0t
水域への排出	排水量	5千m ³	6千m ³
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	5千m ³	6千m ³
水域への 排水規制項目	水素イオン濃度	pH6.8~8.0	pH6.5~7.4
	COD	4.7mg/L	2.0mg/L
	BOD	3.5mg/L	3.9mg/L
	SS	4.8mg/L	2.5mg/L

拠点別レポート

コクヨMVP(鳥取工場)

所在地	鳥取県鳥取市湖山町南2丁目201番地
主要製品	カスタムステーショナリー
操業開始	2007年9月 前身のコクヨ事務用品工業は、 1962年12月に操業開始)
敷地面積	38,389m ²



インプット		2011年度	2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	18,804GJ	18,057GJ
	燃料	2,690GJ	2,023GJ
	電気	16,114GJ	16,034GJ
水資源	水道水	9千m ³	7千m ³
アウトプット		2011年度	2012年度
大気への排出	CO ₂	1,359t	1,194t
	SO _x	0.0t	0.003t
	NO _x	0.157t	0.075t
廃棄物	総排出量	880t	833t
	再生利用・熱回収	876t	832t
	最終処分	4t	1t
水域への排出	排水量	9千m ³	7千m ³
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	9千m ³	7千m ³
水域への 排水規制項目	水素イオン濃度	法規制対象外	法規制対象外
	COD	法規制対象外	法規制対象外
	BOD	法規制対象外	法規制対象外
	SS	法規制対象外	法規制対象外

拠点別レポート

コクヨMVP(青谷工場)

所在地	鳥取県鳥取市青谷町青谷1114番
主要製品	カスタムステーショナリー
操業開始	2007年9月 (前身のコクヨ事務用品工業株式会社 青谷工場は、2000年4月に操業開始)
敷地面積	34,607m ²



インプット		2011年度	2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	12,307GJ	13,165GJ
	燃料	858GJ	1,018GJ
	電気	11,449GJ	12,147GJ
水資源	水道水	3千m ³	3千m ³
アウトプット		2011年度	2012年度
大気への排出	CO ₂	887t	861t
	SO _x	-	-
	NO _x	-	-
廃棄物	総排出量	377t	388t
	再生利用・熱回収	377t	388t
	最終処分	0t	0t
水域への排出	排水量	3千m ³	3千m ³
	公共水域への排出	3千m ³	3千m ³
	下水道への排出	-	-
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	pH6.2~6.9	pH6.9~7.0
	COD	法規制対象外	法規制対象外
	BOD	2.5mg/L	4.65mg/L
	SS	3.2mg/L	7.2mg/L

拠点別レポート

コクヨ-IK(タイランド)

所在地	529 Moo 4 Bangpoo Industrial Estate Soi 8C, T.Praksa, A.Muang, Samutprakam 10280, Thailand
主要製品	クリアブック、PPファイル、 テープのりなど
操業開始	1996年12月
敷地面積	12,679m ²



インプット		2011年度	2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	31,557GJ	35,765GJ
	燃料	899GJ	890GJ
	電気	30,658GJ	34,875GJ
水資源	水道水	17千m ³	20千m ³
アウトプット		2011年度	2012年度
大気への排出	CO ₂	1,686t	1,853t
	SO _x	-	-
	NO _x	-	-
廃棄物	総排出量	557t	508t
	再生利用・熱回収	293t	267t
	最終処分	264t	241t
水域への排出	排水量	14千m ³	16千m ³
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	14千m ³	16千m ³
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	pH7.6	pH7.7
	COD	86.2mg/L	74.9mg/L
	BOD	17.91mg/L	62.0mg/L
	SS	43.3mg/L	57.9mg/L

拠点別レポート

コクヨ(マレーシア)

所在地	Lot 79 & 83, Persiaran Bunga Tanjung 1, Senawang Industrial Park, 70400 Seremban, Negeri Sembilan Darul Khusus, Malaysia
主要製品	スチールデスク、ローパーテーション、収納家具など
操業開始	1999年10月
敷地面積	58,000m ²



インプット		2011年度	2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	26,617GJ	25,945GJ
	燃料	11,040GJ	11,092GJ
	電気	15,577GJ	14,853GJ
水資源	水道水	10千m ³	9千m ³
アウトプット		2011年度	2012年度
大気への排出	CO ₂	1,612t	1,547t
	SO _x	-	-
	NO _x	-	-
廃棄物	総排出量	440t	351t
	再生利用・熱回収	373t	337t
	最終処分	67t	14t
水域への排出	排水量	6千m ³	3千m ³
	公共水域への排出	3千m ³	1千m ³
	下水道への排出	3千m ³	2千m ³
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	pH6.9	pH7.5
	COD	38.0mg/L	13.0mg/L
	BOD	13.0mg/L	4.0mg/L
	SS	10.0mg/L	5.0mg/L

拠点別レポート

コクヨベトナム

所在地	Land Plot B2-B7, Nomura-Haiphong IZ, An Duong Dist., Haiphong City, Vietnam
主要製品	ノート、フラットファイル、厚表紙ファイル、 タックラベルなど
操業開始	2006年11月
敷地面積	51,544m ²



インプット		2011年度	2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	29,282GJ	29,300GJ
	燃料	663GJ	681GJ
	電気	28,619GJ	28,619GJ
水資源	水道水	19千m ³	12千m ³
アウトプット		2011年度	2012年度
大気への排出	CO ₂	1,225t	1,143t
	SO _x	-	-
	NO _x	-	-
廃棄物	総排出量	1,073t	985t
	再生利用・熱回収	1,073t	974t
	最終処分	0t	11t
水域への排出	排水量	19千m ³	12千m ³
	公共水域への排出	-	-
	下水道への排出	19千m ³	12千m ³
水域への 排水規制項目	水素イオン濃度	pH6.3	pH6.9
	COD	38.0mg/L	62.3mg/L
	BOD	12.0mg/L	33.7mg/L
	SS	測定対象外	測定対象外

拠点別レポート

コクヨカムリン(インド:タラプール工場)

所在地	MIDC Tarapur, Tal- Palghar, Dist- Thane, Pin- 401506
主要製品	絵の具、ポスターカラー、クレヨン、シャープペンシル芯など
操業開始	1974年4月
敷地面積	10,045m ²

インプット		2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	22,572GJ
	燃料	852GJ
	電気	21,720GJ
水資源	水道水	29,252m ³
アウトプット		2012年度
大気への排出	CO ₂	2,128t
	SO _x	-
	NO _x	-
廃棄物	総排出量	0.8t
	再生利用・熱回収	0t
	最終処分	0.8t
水域への排出	排水量	29,252m ³
	公共水域への排出	-
	下水道への排出	29,252m ³
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	pH7.2
	COD	120.0mg/L
	BOD	50.0mg/L
	SS	12.0mg/L

拠点別レポート

コクヨカムリン(インド:タロージャ工場)

所在地	M.I.D.C Taloja Navi Mumbai - 410 208
主要製品	インク、スティックのりなど
操業開始	1996年4月
敷地面積	3,801m ²

インプット		2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	4,568GJ
	燃料	1,267GJ
	電気	3,301GJ
水資源	水道水	11,138m ³
アウトプット		2012年度
大気への排出	CO ₂	401t
	SO _x	-
	NO _x	-
廃棄物	総排出量	-
	再生利用・熱回収	-
	最終処分	-
水域への排出	排水量	11,138m ³
	公共水域への排出	-
	下水道への排出	11,138m ³
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	-
	COD	100mg/L未満
	BOD	100mg/L未満
	SS	-

拠点別レポート

コクヨカムリン(インド:バサイ工場)

所在地	Rajprabha Udyog Nagar Building No. 4, Golani Naka, Walive, Vasai (East) Dist.-Thane - 401 30
主要製品	マーカー類、ボールペン・ジェルペン、修正ペン、シャープペンシルなど
操業開始	2009年
敷地面積	3,528m ²

インプット		2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	7,972GJ
	燃料	154GJ
	電気	7,818GJ
水資源	水道水	735m ³
アウトプット		2012年度
大気への排出	CO ₂	758t
	SO _x	-
	NO _x	-
廃棄物	総排出量	-
	再生利用・熱回収	-
	最終処分	-
水域への排出	排水量	735m ³
	公共水域への排出	-
	下水道への排出	735m ³
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	法規制対象外
	COD	法規制対象外
	BOD	法規制対象外
	SS	法規制対象外

拠点別レポート

コクヨカムリン(インド:サンバ工場)

所在地	LANE NO. 9, SIDCO, PHASE - 1 I.G.C., SAMBA- 184 121
主要製品	絵の具
操業開始	2008年1月
敷地面積	10,040m ²

インプット		2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	9,871GJ
	燃料	12GJ
	電気	9,859GJ
水資源	水道水	3,266m ³
アウトプット		2012年度
大気への排出	CO ₂	941t
	SO _x	-
	NO _x	-
廃棄物	総排出量	-
	再生利用・熱回収	-
	最終処分	-
水域への排出	排水量	3,266m ³
	公共水域への排出	-
	下水道への排出	3,266m ³
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	pH5.7~7.4
	COD	125.0mg/L
	BOD	20.0mg/L
	SS	83.0mg/L

拠点別レポート

コクヨカムリン(インド:ジャムナー工場)

所在地	101, Gangyal Industrial Area Phase II Jammu - 180 004
主要製品	絵の具
操業開始	2012年4月
敷地面積	-

インプット		2012年度
エネルギー	エネルギー投入量	2,379GJ
	燃料	-
	電気	2,379GJ
水資源	水道水	-
アウトプット		2012年度
大気への排出	CO ₂	227t
	SO _x	-
	NO _x	-
廃棄物	総排出量	-
	再生利用・熱回収	-
	最終処分	-
水域への排出	排水量	-
	公共水域への排出	-
	下水道への排出	-
水域への排水規制項目	水素イオン濃度	法規制対象外
	COD	法規制対象外
	BOD	法規制対象外
	SS	法規制対象外

KOKUYO

発行

コクヨ株式会社

本社統括部 CSR・環境グループ

〒537-8686 大阪市東成区大今里南6-1-1

お問合せ先

コクヨ株式会社 お客様相談室

TEL:0120-201-594